

# 『立正安国論』奏進750年 現代における教化活動とは

## 第3回 顕本法華宗

### 先師の足跡に学ぶ

顕本法華宗 教務部長

早川義正



# 日蓮聖人 門連だより

発行  
日蓮聖人門下連合会  
〒146-8544  
東京都大田区池上1-32-15  
電話 (03) 3751-7181

平成18年10月13日  
第34号

#### 安心安穩の実践行

日蓮聖人のご主張を一言で表すと「立正安国」の四字となり、そのご一生はこの立正安国に始まり、立正安国に終られたと云うことができます。

『立正安国論』の結文に、「汝早く信仰の寸心を改めて、速やかに実乗の一善に帰せよ。然れば則ち三界は皆仏国なり。……身は是れ安全にして心は是れ禪定ならん」とあります。このお言葉は承知のごとく、佐渡において著された如説修行抄の一文、

「天下万民諸乗一佛乗と成つて妙法独り繁昌せん時、万民一同に南無妙法蓮華経と唱え奉らば、吹く風枝を鳴らさず、雨壊を砕かず、代は義農の世となりて、今生には不祥の災難を払い、長生の術を得、人法共に不老不死の理、顕れん時を御覽せよ。現世安穩の證文疑いある可からざるもの也」のお言葉と一致するのであります。

「立正安国」、「正法の建立に依つて国を安ぜん」とまさしく、天下萬民、世界の人々が、等しく法華経を信じ、一同に南無妙法蓮華経と唱え奉れば、現世安穩、真の佛国土が顕現されるのです。

さらに宗祖は、『如来滅後五百歳始観心本尊抄』の中で「釈尊の因行果徳の二法は咸く妙法蓮華経の五字に具足す。

我等此五字を受持すれば自然に彼因果の功徳を譲り与え給ふなり」と教示されております。

お釈迦様の功徳を譲り受けるという事は、お釈迦様と同様になれることであり、これこそ、真の安心安穩の境涯であります。日蓮聖人の教えにおいて、最も大切なことは、先ず寿命品の本佛の存在を信じてることです。さらには南無妙法蓮華経の七字の唱題修行の実践です。

#### 不惜身命の弘通

本宗の開祖、日什大正師は自らの法脈を、宗祖に倣い、「経巻相承」と述べられています。「経巻相承」とは法華経と日蓮聖人の御書の真意を正しく相承してゆくことです。

開祖として門流の先師が歩まれた道は、宗祖の「立正安国」のご精神そのままの布教伝道であり、また同時にそれは数々の法難に彩られた「不惜身命」の弘通でありました。真の「経巻相承」とはかくも厳しいものであり、それでもなお宗祖の御心そのままに歩んでゆくことを、什祖は我々に強く説き示されたのでした。

本宗においては、来る平成二十年は総本山妙満寺第二十七世、常楽院日經上人（一五六〇～一六二〇）が、耳そぎ鼻そぎの惨刑に処せられた「慶長法難」から四百年の聖年になります。ま

た平成三十一年には日經上人が遷化されてより四百遠忌を迎えます。

徳川家康の命により、慶長十三年十一月十五日、江戸城にて日經上人と浄土宗による法論が取り行われようとしていました。しかしその直前、暴徒のた

めに殴打され、半死半生の状態となられます。理不尽にも、家康は法論の延期を許さず、ついに一方的に浄土側の問答勝利を宣言します。

その後、日經上人が証文を書くことを堅く拒否すると、重科に処すとし、慶長十四年一月七日、日經上人と弟子五人は江戸より京都へ護送されます。そして二月二十日、師弟六人は京都六条河原において、耳鼻そぎの刑に処せられたのです。その時弟子日玄上人は、傷深く死に到ります。

日經上人はその後、迫害を受けながらも各地において布教されます。丹波（京都府）知見谷、若狭（福井県）小浜、さらに福井や小松を経て金沢に入ら



日經上人墓所（金沢・本覚寺）

れます。そこで前田家三輪志摩守長好の庇護を受けてしばしの間金沢に留まり、最後は富山へ行かれ、元和六年（一六二〇）十一月二十二日、神通川のほとりに遷化されます。遺骨は金沢本覚寺に葬られました。

日經上人創する寺五十有余。弟子五百八十余人、信徒十万人。そのご生涯はまさしく不惜身命の法華経弘通でありました。法難後の曼荼羅には花押のなかに「叶不惜身命之金言」と書き込まれています。

日經上人はまさしく、宗祖の『立正安国論』、『如説修行抄』のご精神にそつて、破邪顕正、顕正即破邪の折伏布教に邁進されたのです。日經上人の弘通、教化によって創建、改宗した多くの寺院は今日まで脈々とその法灯を受け継いでおります。

今、その記念すべき聖年を迎え、関係する寺院が中心となり、報恩の会が結成され、終焉



本覚寺正門

## 「門連だより」リニューアルについて

「門連だより」は門連常任理事会との密接な連携の下、①本会創立以来培った共通の場を活かし、門下が等しくかかえる諸問題を考える場の提供②本会活動の報道、を基本路線として刊行を続けてまいりました。

昭和六十一年に創刊された本紙は、今回にて第三十四号を迎えます。このたび更なる飛躍を期し、本紙をリニューアルすることとなりました。

リニューアルは次の三点になります。

#### (一) カラー化

一・二・五・六面をカラー化し、門下の活動をよりダイナミックに伝えます。

#### (二) サイズの変更

ファイリングを考えてタブロイト判に変更いたします。

#### (三) 文字を大きく

より見やすくをモットーに文字を大きく、記事をわかりやすく伝えてまいります。

いま降誕八百年に向けた新たな事業が検討されております。また前号より「門連の歩みと次代への発信」と題する連載にて、これまで門連活動にご尽力いただいた諸先輩にご執筆いただきます。

残すべきものと、変えていくべきものは何か。異体同心の祖訓を体し、四海婦妙の祖願達成に一路邁進する決意にて、「門連だより」は新たなスタートを切ります。



《リレー提言②》門連の歩みと次代への発信

門下連合会の歩みと今後



門下連合会相談役 法華宗陣門流前宗務総長 牧野琢成

祖廟で思い新たに

私が門下連合会の会合に責任を持って出席する様になったのは、昭和五十年代後半以降のことであり、それまでも宗務総長や部長のお供をして、時々顔を出させて頂いて居りました。

春の身延理事會に於いて、初めて祖廟に参詣させて頂き、合掌拝した時には一種の衝撃を受け、心から日蓮大聖人の御教を信じ、その伝導弘通に精進致さんと誓ったものでした。

祖廟参詣後、御宝前に於いて法味言上、そして御真骨堂を巡拝、又々別の衝撃に突き動かされました。

理事會では、十指に余る各宗派の代表が集まり、

- ・前年度事業及び決算の報告
- ・今年度事業計画及び予算の審議

・地方門連の活動報告(京・大阪には夫々門連が存在し代表が出席、時には北海道からも代表が出席)

等々の報告、審議がなされました。

た。

秋には、京都におきまして、各本山を会場にして、京都門連・大阪門連と合同で理事會が開かれ、日蓮宗のみではなく、他宗派の本山においても開催される為、法味言上の次第や、仏前莊嚴等の形式が多少異なるお山もあり、いろいろと参考になりました。ここでは関西方面の動きを説明して頂き、中央だけでなく各地で大聖人の御教の為に、活躍なさっていることを知って力強く感じたものであります。

それにしても出席者御一同の真摯な態度、理解の深さに感服致しました。

やがて身延山の大本堂が完成し、そこで法味言上が行われる様になりました。天井に描かれた巨大な竜が、目を見はらせた。階下に展示された各種御本尊や参考資料、美術品等が有益であります。

御遠忌での記念事業

私が出席させて頂く様になつ

た頃は、大聖人の七百御遠忌直前であり、御遠忌を記念し各宗各派において様々な記念事業や行事が計画されて居りました。門連におきましても、「オラトリオ日蓮聖人」「日蓮聖人劇」「青年の船」「日蓮聖人展」等々が計画され、どれ一つとっても実現には、多大な資力、労力、根気と熱意が必要なものばかりであり、門連参加の各宗が協力した為に夫々大成功を得ることが出来たのではないのでしょうか。

「日蓮聖人劇」を観て大聖人の御生涯をより正しく身近に知ることが出来、「日蓮聖人展」によって御事蹟を理解し、同時に展覧された各宗派の資料等により自分の宗派と門連の各宗との関連を知り新たな認識を得たかも知れません。

「青年の船」においては各宗関係の若い方々が、船中で共同生活を営み、今後の宗団発展運営の為に大なる成果があったと思われま

法華経弘通の目的

人間は安穏や平和を願うもの

実行することによって結束が得られます。それらの事業に対しても加盟の各宗は大はななり、小は小なりに出来る限りの協力を致しました。力を合わせることで如何に肝要か、実証されたわけでありま

門連に参加している各宗門も夫々中心するところは、法華経であり、大聖人でありま

宗夫々の成立発展には、經典教義に対する解釈、広宣する人々、背景となる時代、信仰する大衆等、様々な相違がありますが、一度それらをまとめて、中心となるべき法華経と大聖人に考えを帰一すべきでありま

前述の記念事業が何れも多大な人員を動員し成功裡に終幕出来たのも、各宗門が一つの目的に協力して向かったからでありま

門下の結束が求められる

人間は安穏や平和を願うもの

であります。その為世界には各地方、各民族において種々なる宗教が出現しました。それらが最終的に願う所は、人類の幸福であり、平和であります。夫々の教義、經典、修行、伝導等に差があったとしても最終の目的が、幸福、平和であったならば、その目的を共通のものとして、世界の宗教が手を結ぶことが出来

来ないものかと考えてしま

す。爾來、宗教戦争ほど激しく結末のつきにくい戦争はないと言われま

人間は勝手なもので、自分さえよければと考えてしま

旅・生・活 PLUS JTB

ずっとあこがれていたあのお店へ、知る人ぞ知るギフト券で行きました。

価値ある時間の贈り物 おふたりの思い出を選ぶギフト券

**JTBプレミアージュ**

JTBプレミアージュは、特別なおふたりのための選択型ギフト券です。贈られたかたは、同封のカタログから、厳選された店舗や施設でのグルメ、宿泊、エンタテインメント、ゴルフ、リラクゼーションいずれかのサービスを選び、おふたりでお楽しみいただくことができます。(券面は450,000円のみ。有効期間は発行の翌日から1年間です。)

プレミアージュの価値をお約束する、選べる5つのプラン

- グルメ
- 宿泊
- エンタテインメント
- ゴルフ
- リラクゼーション

お求めは旅のJTB各支店・JTBトラブランド各店プレミアージュ取扱いで、  
またはPLUS JTBサービスセンター 0570-039-714  
www.jtb.co.jp/gift/





# 平成 21 年 7 月 16 日は『立正安国論』

## 奏進 750 年を迎えます

日蓮聖人門下連合会

(平成 18 年 10 月現在)

<p>法華宗(陣門流)総本山 <b>本成寺</b></p> <p>〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇 電話 〇二五六(三三三)〇〇〇八</p> <p>貫首 榎澤日壽 執事 栗田孝之 執事 笹原壯玄 執事 鈴木顕正 執事 荒川公孝 執事 近藤正文 執事 五十嵐義昭</p>	<p>顕本法華宗総本山 <b>妙満寺</b></p> <p>〒606-0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九二)七一一一 FAX 〇七五(七九二)七二六七</p> <p>貫首 中山日曉 事務 島田幸晴 執事 山中晃道 執事 湯村英司 執事 小原正純 執事 川正義</p>	<p>日蓮宗大本山 <b>池上本門寺</b></p> <p>〒146-8576 東京都大田区池上一―一―一 電話 〇三(三七五)二二三三 FAX 〇三(三七五)三三五〇</p> <p>貫首 酒井日慈 執事 早水日秀 役員 一同</p>	<p>日蓮宗総本山 <b>身延山久遠寺</b></p> <p>〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六(二)一〇九四 FAX 〇五五六(二)一〇九四</p> <p>法主 内野日総 総務 井上瑞雄</p>
<p>本門佛立宗本山 <b>宥清寺</b></p> <p>〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一 電話 〇七五(四六三)四六二〇代</p> <p>住職 小向日誠 二十四世 有 執事 田中清希 事務局 伊藤隆之</p>	<p>多寶富士山 日蓮宗 <b>本山要法寺</b></p> <p>〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八 電話 〇七五(七七二)三三九〇 FAX 〇七五(七七二)五九一四</p> <p>貫首 嘉儀日有 大学 丹治日遠 執事 桐生信行 執事 岩崎広義 執事 渡邊光道 執事 西尾弘道</p>	<p>本門法華宗大本山 <b>妙蓮寺</b></p> <p>〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五二)三五二七 FAX 〇七五(四五二)三五九七</p> <p>貫首 高邊日援 執事 石崎光教 役員 一同</p>	<p>法華宗(真門流)総本山 <b>本隆寺</b></p> <p>〒602-8447 京都市上京区智恵院通り五辻上ル紋屋町 電話 〇七五(四四二)五七六二 FAX 〇七五(四四二)五六六六</p> <p>貫主 上川日乾 執事 本多信正 執事 足立真正 執事 永岡悠希 書記 笹木研吾</p>
<p>日興上人御廟所 日蓮宗大本山 <b>富士山重須本門寺</b></p> <p>〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三</p> <p>貫首 本間日諄 参 井出教道 参 井野正文 参 藤先博明</p>	<p>日蓮宗霊跡本山 比企谷 <b>妙本寺</b></p> <p>〒248-0007 鎌倉市大町一―一―一五―一 電話 〇四六七(二二)〇七七七 FAX 〇四六七(二五)六九六七</p> <p>貫首 加藤日暉 執事 大埜稔申 執事 立野正泰 山務役職員一同</p>	<p><b>京都八本山会</b></p> <p>大本山 本因寺 貫首 久村諦道 大本山 妙顕寺 貫首 南條孝仁 本山 頂妙寺 貫首 永田恵遠 本山 妙覚寺 貫首 頂岳龍乘 本山 本満寺 貫首 伊丹栄彰 本山 本法寺 貫首 大塚泰詮 本山 立本寺 貫首 上田尚正 本山 妙傳寺 貫首 野々垣泰典</p>	<p>日蓮聖人出家得度の霊跡 大本山 <b>清澄寺</b></p> <p>〒209-5505 千葉県鴨川市清澄三二二―一 電話 〇四(七〇九四)〇五二五 FAX 〇四(七〇九四)〇五二七 団参には是非、研修会館をご利用ください。 一名八千円、一六〇名様まで可。</p> <p>別当 岡崎日泰</p>
<p>日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗東身延本山 <b>藻原寺</b></p> <p>〒297-0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一 電話 〇四七五(二二)三二五三 FAX 〇四七五(二二)一一七三</p> <p>貫首 持田日勇 総務 増田寶泉 執事 富永一道 役員 一同</p>	<p>日蓮宗本山 <b>頂妙寺</b></p> <p>〒606-8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七二)〇五六二 FAX 〇七五(七五二)一〇〇四</p> <p>貫首 永田恵遠 参 山田信行 同 安藤隆司 同 伊藤照源 執事 藤井知孝 執事 二之部陽雄 同 川合陽雄</p>	<p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 <b>堀之内妙法寺</b></p> <p>〒166-0013 東京都杉並区堀之内三―四八―八 電話 〇三(三三三)六二四一 FAX 〇三(三三三)五〇〇七</p> <p>山主 嶋田日新</p>	<p>日蓮宗大本山 <b>法華経寺</b></p> <p>〒272-0813 千葉県市川市中山二―一―一〇―一 電話 〇四七(三三四)三四三三 FAX 〇四七(三三四)一七九六</p> <p>貫首 新井日湛 執事 藤井智光 財務 村尾貞榮 庶務 滝本善孝 法務 阿部宇善 教務 高谷正之</p>



平成二十一年七月十六日は  
『立正安国論』奏進七五〇年  
を迎えます



日蓮聖人門下連合会

(平成十八年十月現在)

日蓮宗宗務院

管 長 酒井 日慈 財務部長 駒野 教源  
宗務総長 小松 淨慎 宗務総長室長 長 亮行  
伝道局長 伊東 隆司 現代宗教研究所長 田澤 元泰  
総務局長 張田 珠潮 参 与 堀江 宏正  
伝道部長 梶山 寛潮 参 与 浅井 玄裕  
教務部長 渡辺 照敏 日蓮宗新聞社社長 伊東 正光  
総務部長 藤岡 映邦

法華宗(本門流)宗務院

管 長 岡本 日巨  
宗務総長 原井 慈鳳  
教学部長 桃井 晋城  
教化部長 杉村 眞宏  
庶務部長 矢吹 慈英  
財務部長 加藤 信淨  
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九一  
電話 〇三(五六一四)三〇五五代  
FAX 〇三(五六一四)三〇五六

顕本法華宗宗務院

管 長 中山 日唳  
宗務総長 藤崎 広学  
宗務次長 島田 幸晴  
財務部長 藤崎 行学  
布教部長 古瀬 久馨  
社会部長 阿曾 久成  
教務部長 早川 義正  
庶務部長 津村 乘信  
〒606-0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一  
電話 〇七五(七九二)七二七一  
FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 椿澤 日壽  
宗務総長 土屋 善敬  
総務部長 佐古 弘文  
教学部長 田邊 円祥  
教化部長 佐古 大弦  
財務部長 牧野 秀成  
宗務参事 金原 孝宜  
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五三五一六  
電話 〇三(三九一八)七二九〇  
FAX 〇三(三五七六)〇二二一

本門佛立宗宗務本庁

講 有 小山 日誠  
講 尊 梶本 日裔  
講 尊 野崎 日丞  
宗務総長 山内 日開  
宗務副総長 石田 日奥  
宗務副総長 嶋田 幾雄  
宗務副総長 嶋田 幾雄  
〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町二〇番地  
電話 〇七五(四六一)一一六六代  
FAX 〇七五(四六四)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長 嘉儀 日有  
宗務総長 桐生 信行  
総務部長 岩崎 広義  
財務部長 渡邊 光顕  
教務部長 西尾 弘道  
〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上凡法皇町四四八  
電話 〇七五(七七二)三三九〇  
FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上竹 川道  
宗務総長 上竹 正岳  
総務部長 上田 浩玉  
教学部長 箕輪 溪祥  
教化部長 木村 完泰  
財務部長 堀上 隆啓  
社会部長 井多 信正  
主 事 山足 口英 泰  
主 事 山立 口英 泰  
主 事 山立 口英 泰  
〒602-8447 京都市上京区智慧光院通り五辻七九屋敷町三三〇  
電話 〇七五(四四二)五七六二  
FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長 高邊 日援  
宗務総長 信隆 日系  
宗務部長 増田 隆雄  
総務部長 吉田 彦雄  
財務部長 土村 信彦  
教務部長 音羽 隆全  
庶務部長 真鍋 弘喜  
門連常任理事 山鍋 通雄  
〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五  
妙蓮寺内  
電話 〇七五(四五二)三五二七  
FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

資 主 田中 壮谷  
理事長 安中 又六  
門連理事 本間 直暉  
門連理事 相澤 宏明  
門連理事 相澤 宏明  
編集委員 森山 真治  
〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九一八  
電話 〇三(三六五六)七二二一  
FAX 〇三(三六五六)九九八〇  
http://www.kokuchukai.or.jp

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 中山 日唳  
副会長 久村 日鑒  
理事長 大川 定信  
副理事長 杉若 惠隆  
京門連事務局  
〒606-0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一  
電話 〇七五(七九二)七二七一  
FAX 〇七五(七九二)七二六七

日本山妙法寺大僧伽

首 座 塙 行幸  
長 老 石山 行光  
長 老 吉田 行典  
長 老 酒井 行信  
長 老 今井 行康  
長 老 二宮 行嘉  
長 老 池田 行朗  
日本山妙法寺大僧伽事務局  
〒206-0812 東京都稲城市矢野口三五七一番地  
電話 〇四二(三七八)三三九五  
FAX 〇四二(三七九)〇七四四



# 門連時報

## 門連祖廟参詣 身延理事会開催さる

平成十八年五月二十三日(火)  
日蓮宗総本山身延山久遠寺で、「日蓮聖人門下連合会祖廟参詣・身延理事会」が開催され、門連顧問・常任理事・理事・監査・京都門下連合会代表・大阪門下懇話会代表など計二十四名が参加した。

午前十一時に集合し、祖廟並



びに御草庵にて法味言上。その後常唱殿前にて記念撮影。大本堂にて法味言上し、報恩閣に移動。午後二時より理事会が開催された。

小松浄慎日蓮宗事務総長が座長となり議題に沿って議事進行。事務局より「平成十七年度事業報告」がなされ、常任理事会・理事会の開催、門連だより

## 妙法蓮華経漢訳一六〇〇年記念慶讃法要

今回の日蓮宗の使節団は団長に小松浄慎宗務総長、秘書長に長亮行宗務総長室室長を筆頭に団員総勢三十九名にて、六月二十三日から同月二十九日までの七日間にわたり中国に行つてまいりました。

初めに北京空港にて中国仏教協会副秘書長張琳氏・日本課課長李賀敏氏による熱烈的な歓迎をうけました。その後の主な日程と致しましてはまず、広済寺にあります中国仏教教会の訪

発行に関する機関紙編集委員会の開催、各派門連役員の変更等について報告がなされた。

次に、「平成十七年度決算報告」について事務局より決算報告後、齊藤隆彦監査より監査会の報告がなされ承認。

「平成十八年度事業計画案」については前年度同様祖廟参詣、理事会開催、「門連だより」の年二回の発行について説明を行

い、それに伴った予算案についても承認された。

続いて地方門連活動に関する報告として、京都門下連合会大川定信理事長並びに、大阪門下懇話会和田龍昌会長より、それぞれの諸活動について報告があった。

次に、「降誕八〇〇年準備企画」について、平成三十三年の御降誕八百年を迎える前に、平

問をし、会長釈一誠法師・常務理事演覚法師との歓談をいたしました。

次に、北京から西安へと移動し午後大興善寺にあります陝西省仏教教会を表敬訪問をし住職界明法師・監院羅福法師・弁公室副主任性洋法師との歓談をいたしました。

そして、第十二次日蓮宗中国訪問使節団の一番の目的でありました『妙法蓮華経漢訳一六〇〇年記念慶讃法要』を草堂寺にて任職譚性法師ご臨席のもと厳修しました。

この団参で、私達は宗祖の祈願でありました「一天四海皆帰妙法」を肌で感じられたと共に、お題目の結縁で今回の中国訪問が出来た事に感銘を受けた大変有意義な七日間となりました。今後も日中交流を益々深めていき、両国のさらなる発展に努めていきたいと思っております。

成二十一年七月十六日にお迎えする『立正安国論』奏進七百五十年の佳節にあたり、当紙第二面にて、各門下リレー提言をおこなっていくことが決定されており、既に二門下の提言が行われたことが確認された。

午後三時に閉会。会場を静岡の日本平ホテルに移し、午後六時より懇親会を開催。会員相互の親睦を深めた。

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
平成一八・二・二二	川口日唱師	法華宗本門流	顧問	就任	退任
平成一八・二・二三	岡本日豆師	法華宗本門流	顧問	就任	退任
平成一八・二・二三	中村通義師	顕本法華宗	常任理事	就任	退任
平成一八・四・二二	門谷東生師	法華宗陣門流	理事	就任	退任
平成一八・四・二二	門谷日悠師	法華宗陣門流	理事	就任	退任
平成一八・四・二二	門谷光瑞師	大阪門下懇話会		就任	退任
平成一八・四・二二	和田龍昌師	大阪門下懇話会		就任	退任
平成一八・五・一五	藤井日光師	日蓮宗	顧問	就任	退任
平成一八・五・一五	酒井日慈師	日蓮宗	顧問	就任	退任
平成一八・八・三二	柳下義真師	日蓮本宗	理事	就任	退任
平成一八・八・三二	木村朋寛師	日蓮宗	事務局	就任	退任
平成一八・九・一	井上建一氏	日蓮宗	事務局	就任	退任
平成一八・九・一	本間直暉氏	日蓮宗	事務局	就任	退任

毎月3回お届けします。信仰・ふれあい・笑顔・・・

宗門唯一の伝道紙 **日蓮宗新聞** 毎月1日・10日・20日 年間購読 3,600円(送料込)

教誌 **正法** 年4回発行 年間購読 1,700円(送料込) 一冊350円(送料別)

お正月(1月号) 春季彼岸(3月号) お盆(7月号) お彼岸・お会式(9月号)

お申込みは 日蓮宗新聞社まで 〒146-0082 東京都大田区池上7-23-3 電話03-3755-5271 FAX03-3753-7028



各派・教団・短信

日蓮本宗

◆二月二十六日、全門連東京理事会(池上本門寺) 桐生宗務総長出席。

◆二月六日、第十五回教師研修会開催(二日間)。七日、第二回日興上人第六七四年御報恩正当法要奉修。二十二日、第八十三回定期宗会開催(二日間)。

◆三月九日、勸学寮役員会開催。同日、宝蔵収納委員会開催。

◆四月十二日、鐘樓堂・薬医門等修復委員会開催。十四日、王城開闢七百年法要委員会開催。

◆五月八日、第三十六回法護持会全国分会長会議開催。同日、御開山日尊上人第六六二年御報恩正当法要奉修。十五日、日蓮宗・小松宗務総長と長総長室長、渡邊宗務課長、関主事補が同行来山。二十三日、全門連理事会(身延山久遠寺) 桐生宗務総長出席。三十日、身延山大学学長・宮川了篤師、望月泰幹師挨拶のため来山。

◆六月二十七日、平成十七年度日蓮本宗会計監査会。二十八日、第四回宝蔵収納委員会開催。同日、第五回霊蹟・宗宝護持委員会開催。

◆七月十三日、第三回法要式集編纂準備委員会開催。二十五日、平成十八年度第四十一回夏期研修会開講(三日間)。(桐生信行)

国柱会

◆元旦、明治神宮参拝・元旦大國持・新年拝賀式厳修。同日午後、新酒拝賀式厳修。七日、昭和天皇祭厳修、武蔵野御陵参拝。

日蓮宗

◆二月十一日、紀元節慶讃法要厳修。十五日、釈尊涅槃会報恩法要厳修。十六日、聖相降誕会慶讃法要厳修。

◆三月五日、中央連合協議会主催の「申孝園のつどい」を本部にて開催。主なテーマは、「観音信仰」、「宮澤賢治と法華文学」。

◆四月二日、「申孝園桜まつり」開催。八日、釈尊降誕会慶讃法要厳修。二十八日、三十三回、第七十六回身延登詣団及び第四十二回身延大祖廟輪番給仕国柱会奉仕団を実施。二十八日、立正会慶讃法要厳修(本部及び身延大祖廟にて)。

◆五月七日、国柱会必武館剣道大会開催。十二日、伊豆法難会慶讃法要厳修。尚本年度より、原則として毎月第三日曜日(例月供養会の日)に、「日蓮教学研修会」を開催しています。会費は無料で、どなたでも参加出来ます。

法華宗真門流

◆二月二十二日、教区所長会議・布教師会を開催。本年度各教区の活動計画案の報告、布教計画を作成。

◆三月二十七日、二十九日まで、一般信徒及びその子供達の錬成道場寺院師弟の僧風林を開校。

◆四月九日、二十八日まで、真門学林(春季)が開講。

◆四月十一日より三日間、総本山本隆寺千部会厳修される。

◆六月六日、十日まで布教師養成所(在神信学所長)が、兵庫県水上町妙寿寺に於いて開所された。

◆六月二十一日、真門教学講習会開催。

◆八月一、三日、総本山本隆寺にて暁天講座開催。

◆八月二十三、二十九日まで第一種、二種講習会。二十七、二十九日まで第三種講習会を総本山本隆寺にて開催。北海道支学林同期間開催。

◆八月二十五日、総本山本隆寺にて「重宝虫弘会」を執行。

法華宗陣門流

◆一月二十五日、第百六次臨日、第百六次臨

本門法華宗

時宗会が開催され、土屋善敬総長が再任された。

二月三日、総本山本成寺において「節分鬼踊り追儺式」が貫首椿澤日壽親下御導師のもと厳修された。

◆三月二十七日、二十八日、第百七次定時宗会が開催された。

◆四月二十七日、宗務所長会議が開催された。

◆五月八日、布教誌「宝塔」通信員研修会が開催された。十一日、伊豆・霊跡別院蓮着寺において、「組別法難会」が厳修され、本年も全国寺院より多くの檀信徒が参拝した。十三日、六月二十一日までの四十日間、総本山本成寺において、「法華宗学林」が開講され、今年も全国より寺院徒が集まった。学林生達は、毎日、早朝より教学研究・練経・浄行などに励み、行学二道に精進した。二十六日、二十八日までの三日間、総本山本成寺において「祠堂法要」が、日壽親下のもと厳修され、全国寺院よりの団参で賑わった。

◆六月二十八日、布教研究所員会が開催された。二十九日、寺録点数見直し委員会が開催された。

◆七月二十七日、宗法審議委員会が開催された。(以上、とくに断りのない場合は、東京東鴨・法華宗宗務院会議室において開催)

本門法華宗

◆三月二十七日、第九十三回本門法華宗宗会(信隆日系宗務総長)が、大本山妙蓮寺卯木講堂で、高邊日援本門法華宗管長臨席のもと、開催された。本門法華宗平成十八年度予算の件他、第八号議案まで審議され、承認可決された。

◆四月十二日、大本山妙蓮寺(高邊日援貫首)で、本山三大会の一つである春季大法要が奉修された。高邊貫首の御親教他、春の志霊法要以下諸法要が厳修された。

◆本門法華宗宗院・学部では(藤井安長宗務院長)六月八、九日に第百十七回教学講習会が、大本山卯木講堂で開催された。本年度中に、九月二十九、三十日(第百十八回)、十一月十六、十七日(第百

法華宗本門流

◆大本山光長寺貫首川口日唱親下が任期途中で辞任。選挙の結果、大橋日紹上人(山梨県妙法寺住職)が当選し、二月十六日付をもって第七十七世貫首に就任、五月二日に晋山式が大本山光長寺において奉修された。

◆第五十九次定期宗会が五月十八、十九日に宗務院で開催され、原井総長の施政方針に続き、予決算の承認可決、奉讃会設立等十四議案を議定して無事閉会。

◆全国宗務所長会が五月二十九、三十日に宗務院で開催され、本年度の宗務執行等十九議題を協議して閉会。

◆本年度開催の教学講習会は、次の六会場。北海道一八市二十四、二十六日に開催済(札幌市・札幌サンプラザホテル)、千葉一十月三、五日(千葉県・ホテル松涛軒)、北陸一九月二十七、二十九日(金沢市・ガーデンホテル金沢)、兵庫一十月十七、十九日(神戸市・神戸オリエンタルホテル)、中国一十月二十三、二十五日(萩市・萩本陣)、九州一六月五、七日(佐世保市・西海橋コラソンホテル)に開催済。

日本山妙法寺

◆一月三十日、大分県日出生台の米海兵隊実弾砲撃演習に反対する御祈念。

◆二月十一日、茨城県航空自衛隊百里基地にて百里玄題空塔十九周年法要。二月、三月、米國マサチューセッツ州平和巡礼。

◆「死の灰」被災五十二周年三・一ビキニデー平和祈念行脚(東京・焼津市)。

◆四月九日、奈良吉野山仏舎利塔三十周年記念法要。二十八日、立

日蓮宗

教開宗七百五十四年報恩東京、広島平和祈念行脚出発式。

◆五月三日、東京多摩道場釈尊御降誕会大祭。五日、佐賀肥前仏舎利塔二十周年祈念法要。二十七日、「宗教者九条の和」諸宗教者達と京都河原町通りを平和巡礼。

◆六月、米國ワシントン州シアトル平和巡礼。

◆七月二、九日、第十一回韓日平和巡礼。

◆八月二十四、二十五日、西天開教七十六周年祈念法要(熱海、身延)。

◆「日本の仏法、西天インドに還るべき瑞相に魁せんと欲す。(略)もし西天にこの法還らば、我等が菩薩行立つべからず。もし西天にこの法還らば、婆娑の衆生は永く火刀血の牢舎を出づる期あるべからず」(藤井日達)

◆十月二十八日、印度デリー仏舎利塔、御佛舍利様奉安式(予定)。(牧野行輝)

本門佛立宗

◆皆が感動! 歓喜! 百五十記念大法要

安政4年本門佛立講が開講され、本年度で百五十の正当を迎える宗門では日本国内の各布教区域単位、海外寺院でもそれぞれ大法要を奉修している。

未来に向け、弘通広宣の決意を新たに、次代につながる法灯相統を願ってそれぞれ趣向をこらしたテーマで奉修。各地で大きな感動の声があがっている。

◆スリランカのHBS

HBS(本門佛立宗)スリランカの弘通(布教)から十年経過した本年度で約一万人の仏立信徒が誕生している。上座部仏教が主流の国で、妙法蓮華経の本化仏教が信徒の生きる支柱になっている姿は、かつて日本国内の仏立発祥当時のような、ひたむきで素直な信心があふれている。

たとえ貧しくても、生活のなか便利さや快適さはなくても、家族や地域全体が信仰で一体になっ

日蓮宗

◆日蓮宗は終戦記念日の八月十五日、戦没者の遺骨が埋葬される千鳥が淵戦没者墓苑で「千鳥が淵戦没者供養並びに世界立正平和祈願法要」を導師に小松浄慎宗務総長、副導師には東京四管区宗務所長が務め、参列者と共に死者への冥福と世界平和を祈った。

◆日蓮宗総本山身延山久遠寺の藤井日光法主現下が法主引退を表明、第九十二世の法主に選任された内野日総現下の仮入山式が七月三十一日に行われ、僧侶檀信徒約三百人が参列した。関係機関や檀信徒へのお披露目となる「入山式」は十月三日、久遠寺本堂で行われる予定。

◆第五十一代日蓮宗管長に大本山池上本門寺(東京都大田区)の酒井日慈貫首が就任。五月九日、東京都大田区池上の宗務院講堂で管長就任奉告式が行われた。

◆「全国日蓮宗青年僧 身延結集」原点からの結集が五月二十日と二十一日に開催され、全国から青年僧と檀信徒合わせて約三百五十人が集結した。全国日蓮宗青年僧の結集に檀信徒が参加したのは、第四十四回目となる今回が初めて。身延山での開催は三十年ぶりとなった。

頭本法華宗

◆二月二十三日、藤崎広学宗務総長(千葉経風寺)のもとに新内局が発足。新内局は島田幸晴宗務次

日蓮聖人門下連合会

長(広島妙法寺)、藤崎行学財務部長(千葉大経寺)、古瀬久馨布教部長(京都妙法久遠寺)、阿曾久成社会部長(千葉妙善寺)、早川義正教務部長(岡山本成寺)、津村乘信庶務部長(東京常福寺)が任命された。

◆五月十三、十四日の二日間、京都総本山妙満寺において「春季報恩大法要」が管長中山日暁現下大導師のもと厳修された。本年は仏舎利大塔建立三十三周年を記念して全国の僧侶檀信徒から塔外壁に奉納された仏像の開眼法要も奉修した。

◆七月二十五、二十八日の三泊四日間、京都総本山妙満寺を会場に、宗門主催「第四十三回頭本青少年錬成会」が開催された。(小島芳明)

●目的  
本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を強化することを目的とする。

●事業  
本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。

- 1、祖廟護持の組織強化
- 2、教育事業の提携
- 3、布教の連合強化
- 4、懇談会・研究会・講演会等の開催
- 5、各種出版物の刊行
- 6、海外布教の提携及び交流
- 7、対外的な各種の運動
- 8、その他

●加盟団体  
日蓮宗 法華宗本門流  
頭本法華宗 法華宗陣門流  
本門佛立宗 日蓮本宗  
法華宗真門流 本門法華宗  
国柱会 日本山妙法寺  
京都門下連合会